



今  
回  
の  
内  
容

- ① 新任教員紹介 . . . . . 森本凌丞
- ② 診療科紹介
  - 1. 救急科 . . . . . 橘 直人
  - 2. 形成外科・顎顔面外科 . . . . . 中川浩志
- ③ 第146回医療連携懇話会について  
 地域連携で守る！中枢から末梢までの血管命脈—進化する大動脈・末梢動脈インターベンション 岡山英樹
- ④ 看護部コラム . . . . . 青野洋子
- ⑤ お知らせ (次回の医療連携懇話会のお知らせ・媛さくらネットについて・メール登録のご案内)

① 新任教員紹介 よろしくお願ひいたします。

地域医療連携室 MSW 森本凌丞

4月から県立中央病院に入職いたしました、森本凌丞と申します。

就職前は福祉系大学に4年間在学しており、社会福祉士として必要な知識や技術等を学んでおりました。初めての就職先が病院ということで不慣れな点も多いですが、県立中央病院の一員としての自覚を持って一つ一つの業務を丁寧にこなしていきたいと思っております。現在、様々な患者様と関わらせていただいておりますが、日々学ぶことが多く先輩スタッフの背中を見て学んでおります。

「患者様やご家族の思い」を大切にしながら、転院や退院のお手伝いをさせていただき、患者様やご家族に「関わってもらって良かった」と思ってもらえるような支援ができるよう努めていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



## ② 診療科紹介 救急科

救急科 主任部長 橘 直人

馬越救命救急センター長のもと12名のスタッフが病院前医療から初期救命診療、集中治療に携わっています。

### ①病院前医療

早期医療介入による重症患者の救命率の向上を目指しています。

- ・ドクターヘリ：基地病院として県内の消防機関や医療機関と連携
- ・ドクターカー：夜間や天候不良時にドクターヘリを補完
- ・ワークステーション救急隊と医師同乗出動：松山市消防局と連携

その他、中予地域メディカルコントロール(MC)協議会のMC担当医療機関として、救急救命士や消防職員に就業前病院実習や生涯教育を提供しています。また、当院は「基幹災害拠点病院」に指定されており、救急科スタッフのほとんどがDMAT (Disaster Medical Assistance Team：災害派遣医療チーム) 隊員です。東南海・南海地震や原子力災害などに備え災害医療体制の強化にも取り組んでいます。

### ②初期救命診療

初療室（3次救急外来）は2床＋補助ベッド2床の合計4床で運用し、放射線部、臨床工学部、検査部と密に連携しています。愛媛県全域から重症救急患者を受け入れ、各専門診療科とともに診療を行っています。多発性外傷、敗血症、広範囲熱傷、急性中毒、低酸素脳症、体温異常等は救急科が主治医として対応しています。

### ③集中治療

外来診療に引き続き、ICU/HCUの運用にも携わっています。医師・看護師以外にも薬剤部、リハビリテーション部、栄養部等の多職種と連携した診療を行い、「食べる」「寝る」「動く」をモットーに重症患者の長期予後の改善に取り組んでいます。

私たちが目指しているのは「地味」「地道」「引き算」の急性期医療です。日常の業務内容は多岐にわたりますが、担っているのは「隙間産業」とであると自任しております。

最後に、当科は当院救命救急センターの窓口としての責務も負っております。今後も、愛媛県下の救急医療体制が円滑に維持できるよう精進していく所存でございます。引き続きご理解、ご協力の程よろしくお願いします。



## ② 診療科紹介 形成外科・顎顔面外科

形成外科・顎顔面外科 総合診療部 主任部長 中川 浩志

平素より多くの患者さんをご紹介いただきありがとうございます。

前回、この地域連携室便りに投稿させていただいたのは2022年5月のことでした。この時には形成外科の認知度の低さと形成外科の歴史、対象疾患について書かせていただきました。

それから3年余が経過し、最近では「形成外科って何をやっているのですか？」と尋ねられることは少なくなりました。これもひとえにこの地域連携室便りをご覧になっている先生方、ご紹介いただいている先生方のおかげと感謝しております。

改めて、形成外科はどのような疾患を対象にしているのかを記したいと思います。一般的に形成外科は頭先从手足の先まで身体の表面を対象とし、先天性、後天性に生じた形態異常や機能異常を形態的、機能的に修復再建する外科です。即ち、皮膚表面の病気やケガ、傷痕や変形を外科的にきれいにすることでご本人の精神的苦痛を軽減し、QOLの改善を目指しております。

＜具体的に当院で扱う疾患＞

顔や手足などの身体表面のケガや顔面骨骨折、熱傷等の外傷、唇裂・口蓋裂、多指症等の先天異常、あざや皮膚腫瘍等の皮膚・軟部組織の腫瘍、糖尿病性潰瘍や褥瘡等の難治性皮膚潰瘍、外傷や術後の瘢痕、瘢痕拘縮、ケロイドなどの疾患を対象としています。治療する患者の年齢も新生児、小児から成人、高齢者まですべての年代におよびます。

当院の形成外科は現在4名のスタッフで活動しています。他病院の形成外科は1～3名体制であることが多いので一般病院の中では比較的恵まれた環境といえますが、その分仕事量も多く、当院の理念である「県民の安心の拠り所となる病院であること」の実現のためスタッフ一丸となり診療にあたっております。当科の特徴は顎顔面外科を併記している通り顔面骨骨折を主とした顔面の手術が多いことが挙げられます。愛媛県内外の病院、診療所の先生方より多くの患者さんをご紹介いただき治療を行っています。

最近では壊死性筋膜炎、ガス壊疽、フルニエ壊疽を中心とした進行性軟部組織感染症の患者さんが急増しています。緊急に処置を行わなければ生命予後に係わることが多い疾患です。手術も複数回に及ぶことも多く、救急科の医師と全身管理を行い、少しでも早く社会復帰ができるように心掛けております。また、糖尿病を主とする生活習慣病の合併症としての下肢潰瘍の患者、日常生活自立度の低下による褥瘡の患者も、当該科と協力して治療にあたっております。

## *Plastic surgery · Maxillofacial surgery*

当科では美容外科を除く形成外科疾患全般につきまして対応が可能です。日常の診療で体にできものがある、あざがある、ケガをした、やけどをした、傷痕が気になるなど、皮膚表面の疾患で患者さんよりご相談を受けられましたら、ぜひ形成外科の受診をお勧めください。手術の方法、レーザーの方法、手術を行わない方法等説明し、スタッフ一同、親身になりご希望に添えるよう治療を行います。

今後とも引き続き、当科へのご支援を賜りますようお願いいたします。



### ③ 第146回医療連携懇話会について

#### 地域連携で守る！中枢から末梢までの血管命脈

#### ー進化する大動脈・末梢動脈インターベンション

副院長 岡山 英樹

愛媛県立中央病院では、大動脈から末梢血管まで、幅広い血管疾患に対して集学的かつ低侵襲な治療を行っています。タイトルの「血管命脈」は私の造語であり、血管を治し、救肢・救命を目指すための命のネットワーク（命脈）、すなわち地域連携という意味であります。米国の著名な内科医William Osler博士の言葉を借りれば、“Man is as old as his arteries.”「人は血管とともに老いる」と訳されていますが、「人の年齢は実年齢ではなく血管の状態によって決まる」というニュアンスが強い表現と考えます。つまり「血管年齢＝人の真の年齢」と言ってもよく、動脈硬化の進行こそが生命予後や健康寿命を規定する、というメッセージととれるでしょう。第146回医療連携懇話会では、心臓血管外科と循環器内科の二つの演題を通じて、この重要命題に対する当院の取り組みと地域連携の重要性が紹介されました。

#### 1. 大動脈から末梢血管まで、当院における血管内治療のトータルマネジメント

（心臓血管外科 米沢 数馬 部長）

大動脈疾患の治療は、従来「開胸手術」と「血管内治療（TEVARなど）」が重なり合う領域で治療方針に迷うことも多くありました。当科では、基部から大腿動脈までを一体的に捉える“Total Aortic Management”を掲げ、段階的・包括的に最適治療を提供しています。

胸部大動脈瘤では、弓部置換＋オープンス Tent とTEVARを組み合わせたハイブリッド治療も導入し、耐術能や再介入リスクに応じた柔軟な選択が可能となりました。また、スタンフォードB型大動脈解離に対しては「Preemptive TEVAR」を積極的に行い、発症早期からの介入で偽腔の血栓化や真腔拡大を得ています。

腹部大動脈瘤ではEVAR症例が増加し、タイプ2エンドリーク予防の工夫や新デバイス導入により、従来困難であったショートネック症例にも対応できるようになりました。さらに閉塞性動脈硬化症に対しては、循環器内科とカンファレンスを重ね、EVTと外科的手術を組み合わせたハイブリッド治療で良好な成績を挙げています。

まとめとして、大動脈疾患は径が小さい段階でも手術適応となり得るため、早期紹介が重要です。またB型大動脈解離は降圧療法のみで経過観察するのではなく、早期からご相談いただくことで低侵襲かつ効果的な介入が可能です。

## 2. 足を救う！命を救う！—当院でのカテーテル治療と地域連携のご提案

(循環器内科 香西 祐樹 医長)

下肢動脈疾患（LEAD）は動脈硬化を基盤とし、進行すると重症下肢虚血（CLTI）に至ります。特に糖尿病や透析患者では、間欠性跛行を経ずに突然潰瘍・壊疽で発症することも多く、「赤信号」の病態といえます。

当院では年間120件以上の末梢血管カテーテル治療（EVT）を実施しており、心臓血管外科・形成外科・創傷ケアチームと協力し、救肢を第一に治療を行っています。症例によっては炭酸ガス造影や最先端デバイスも駆使し、潰瘍の改善やADL維持に努めています。

しかし現状では、紹介が遅れたために大切断へ至る患者も少なくありません。大腿切断の1年死亡率は20～40%、5年では50～70%に及び、義足歩行獲得率も低いことから、できる限り「大切断を避ける」ことが極めて重要です。

当院の提案は二点です。

1. 足趾潰瘍や安静時疼痛がみられたら早期にご紹介いただくこと。
2. 初期治療後は早期退院・転院を進め、地域の先生方と連携して長期的に創管理・全身管理を行うこと。

この病診連携が強化されることで、より多くの患者さんの足を守り、生活の質を保ちながら治療を続けることが可能になります。

おわりに

愛媛県立中央病院では、大動脈から末梢血管まで一貫した血管治療を行い、院内外の連携体制を整えています。「早期発見・早期紹介」が救命・救肢につながりますので、今後とも積極的なご相談をお待ちしています。



## 「看護部コラム」

### ④ 妊産婦のメンタルヘルスケアを支える 看護部 看護部長 青野 洋子

核家族化や地域社会の希薄化などから、家族や地域から十分な支援を得難い妊産婦の方が年々増えています。2024年度に当院でお産された792人のうち約4割の方が周産期メンタルヘルスケアを必要とされています。母子が安心して子育てができる環境を整えるため、地域と共に妊娠期～育児期の切れ目のない支援を行うのが助産師の大きな役割の一つです。当院の妊婦健診や産後健診、母乳育児支援外来でも、不安の軽減を図るためにお母さん方の話をしっかり聴くことに力を入れています。

助産師は女性の一生に寄り添う仕事です。アドバンス助産師の育成に力を入れ、当院から「地域の女性の生涯にわたる健康を守る」関りを広げていきたいと思っています。



## ⑤ 次回の医療連携懇話会のお知らせ

お申込・詳細はコチラから [Click!](#)

<リンク先> 愛媛県立中央病院ホームページ

### 第147回 医療連携懇話会

日時 令和 7 年 11 月 12 日 (水) 講演 19:00~20:00

場所 愛媛県立中央病院 講堂

テーマ 『成人、小児の膠原病』

講演 「こどもの膠原病の特徴と愛媛県の実態について」 小児科 主任部長 中野 直子  
「膠原病について」 総合診療科 医師 三好 俊太郎

「炎症性腸疾患と関節リウマチの生物学的製剤について」 薬剤部 薬剤師 山本 美穂

お申し込み方法 ホームページの申し込みフォームからお申し込みいただけます。

★当日のご参加も可能です（フォームからの申し込みは、懇話会開催前日の午前10時まで）

### 第148回 医療連携懇話会

日時 令和 8 年 1 月 14 日 (水) 予定 講演 19:00~20:00予定

場所 愛媛県立中央病院 講堂

テーマ 『IBDについて（潰瘍性大腸炎・クローン病）（仮）』

COMING SOON!

座長 未定



地域医療連携 ネットワークサービス



## 媛さくらネット

Information

アレルギー情報へのアクセスが簡単になりました!

<2025年現在閲覧できる項目>

- ・処方・注射・検体検査・病名・退院時サマリ・画像（放射線、エコー、生理検査）
- ・循環器動画・放射線画像診断レポート（退院時サマリは2023年4月1日以降の情報となります）

参加  
無料

こんな  
メリットが

<リンク先> 愛媛県立中央病院ホームページ

お申込・詳細はコチラから [Click!](#)

- ・地域で一貫した医療をご提供
- ・検査や投薬の重複をさけ、医療費負担削減

## 次号の地域連携室便り

次回12月号は、2025年12月下旬頃刊行の予定です。お楽しみに!



# メール登録のご案内



各種ご案内やお知らせ（医療連携懇話会案内・地域連携室便りなど）はメール配信を推奨させていただいております。他、県立中央病院ホームページのタイムリーな更新情報も順次配信予定です。メールでの配信を希望される医療機関様につきましては、お手数ですが、下記メールアドレスへ医療機関名を記載し、送信をお願いいたします。  
動画視聴のみを希望される医療機関関係者の皆様のご登録も受け付けております！

メールの  
ご登録で…

- ・ 医療連携懇話会の限定公開動画がご覧いただけます
- ・ 医療連携懇話会のご案内
- ・ 地域連携室便りの更新のご案内などが届きます！



ご意見・ご要望も  
お寄せください



動画配信の  
3つのポイント！



①  
お好きな  
場所で



②  
お好きな  
時間に



③  
繰返し  
再生！



## ◆お申し込み方法①

- ・ 下記の地域医療連携室のメールアドレスへ、以下を記載し送信してください。
  - ＜件名＞ メール登録（医療機関名）
  - ＜本文＞ 医療機関住所、電話番号
  - ＜動画視聴のみのご希望の場合＞ 「動画のみ」と記載をお願いします

E-Mail : [c-renkei@eph.pref.ehime.jp](mailto:c-renkei@eph.pref.ehime.jp)

## ◆お申し込み方法②

- ・ 本用紙でのお申し込み

-----キリトリ-----✂

- ・ 愛媛県立中央病院 地域医療連携室に下記の登録をいたします。

＜医療機関名＞ \_\_\_\_\_

＜医療機関住所＞ \_\_\_\_\_

＜電話番号＞ \_\_\_\_\_

＜動画視聴のみのご希望の場合＞ ☐ 動画のみ希望（チェックをお願いします）

＜メールアドレス＞ \_\_\_\_\_ @ \_\_\_\_\_

- ☐ 今回医療連携懇話会に申し込んだメールアドレスを登録します（チェックをお願いします）

ご記入いただきました個人情報、必要なセキュリティ対策を講じ、厳重に管理、メール送信の目的にのみ利用させていただきます。